

## 第 52 回国連女性の地位委員会出席報告会 世界から北九州へ、北九州から世界へ



第52回国連女性の地位委員会参加報告(2/22-29)

2008 年 2 月 25 日から 3 月 7 日まで、ニューヨークの国連本部で開催された第 52 回国連女性の地位委員会 (CSW)。この委員会にオブザーバーとして参加した (財) アジア女性交流・研究フォーラム (KFAW) 理事長の吉崎邦子が出席報告会を行った。(財) アジア女性交流・研究フォーラムは九州で唯一、国連の経済社会理事会の NGO 協議資格を有する団体であり、今回の会議への参加もこの資格に基づくものである。

CSW とは 1946 年に国連の経済社会理事会の下に位置付けられた機能委員会の 1 つで、主要な活動は女性の地位向上であり、女性の参政権に関する条約や既婚女性の国籍に関する条約、女子差別撤廃条約などの原案の審議作成を担ってきた。毎回 CSW には優先テーマが設定されるが、第 52 回の優先テーマは「ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントのための資金調達」であった。このテーマは、女性の無償労働やジェンダー予算、ジェンダーと税やジェンダーと賃金格差などを包含するものであり、日本の NGO である日本女性監視機構 (JAWW) によると、「資金調達」という言葉を分かりやすく言い換えるならば、「お金の流れ」ということになるとのことであった。

CSW の委員国は、国連加盟国の中から地理的配分に配慮して 45 カ国が選出されてい

### 講師 吉崎 邦子

2007 年 3 月まで福岡女子大学教授。1997 年から (財) アジア女性交流・研究フォーラム理事を務めたあと、2007 年 4 月から (財) アジア女性交流・研究フォーラム理事長。

る。JAWW によると、今回の第 52 回 CSW に KFAW と同じように NGO の立場で参加した者は 2,000 人弱であり、日本からの NGO 参加者は 18 人であった。



CSW の開会式で、潘基文 (パン・ギムン) 国連事務総長は次のような内容の演説を行った。

開会式  
パン・ギムン事務総長演説

- 女性に対する暴力について緊急呼びかけ
- 地球規模で女性に対する暴力と闘う新しいキャンペーンに取り組む(2015年まで)
- 女性に対する暴力は、決して受容できないし、待ってられるものでもない。
- 各国代表に女性に対する暴力が犯罪であると規定する法律策定を要請
- 男性、女性、メディアへの呼びかけ

会期中、国連本部ビルの向かい側にあるチャーチ・センターでは、世界各国から集まった NGO によるワークショップが 150~160 も開催された。女性/少女に対する暴力をテーマとするもの、アフリカ女性のエンパワーメントをテーマにするもの、第 5 回世界女性会議の実現を目指すもの、女性と資金調達に関するもの、ジェンダー予算に関するものなどそのテーマは多岐にわたり、NGO の参加者同士が直接意見を交わすワークショップの場は、有意義な時間を過ごすことのできる非常に面白いものであった。

講師の出張期間は 2008 年 2 月 22 日から 29 日までであり、すべての会議に参加することはできなかったが、帰国後 CSW 関係のサイトなどで 2 月 28 日の目黒依子 CSW 日本政府代表のステートメントや 3 月 8 日の国際女性の日に際して発表された事務総長のメッセージ、3 月 11 日に公表された合意結論などの情報を得ることができたとのことで、それらの内容についても紹介した。

#### 【目黒依子 CSW 日本政府代表のステートメントの概要】

今回の CSW の優先テーマである「ジェンダーの平等と女性のエンパワーメントのための資金調達」が不可欠かつ時宜を得たテーマであることを述べた上で、政策・意思決定過程への女性の参画が重要であることや、未だ日本の UNDP による GEM が低い現状についても触れている。また、日本が 2008 年をワーク・ライフ・バランス元年に位置付けたり、2007 年に改正配偶者暴力防止法を制定したりしたことも紹介。さらには、女性の無報酬労働の正当な評価や、結果に結びつく資金調達の仕組みが重要であることを述べ、今年日本で開催される洞爺湖サミットで気候変動とジェンダーについて論じられることへの期待を表明している。

#### 【国際女性の日に際して発表された事務総長のメッセージの概要】

「女性と女兒に投資すること」をテーマに資金不足はジェンダー平等や女性のエンパワーメントの取り組みそのものを遅らせること、資金不足は 2015 年までにミレニアム開発目標すべての達成を目指す私たちの努力も阻害すること、男女不平等の経済コストと、これを救済するのに必要な資源を計算する必要があること、50 カ国以上がジェンダー対応予算編成のイニシアティブを開始していることなどについて述べている。

#### 【合意結論の概要】

北京宣言と北京行動綱領の重要性、ジェンダーの平等を達成するにはジェンダーの主流化が重要になること、国の経済政策・戦略・計画などを企画・実行し、それを監視・評価・報告するすべての段階にジェンダーの視点を組み入れること、経済制御過程に女性の参画を増やすことなどが盛り込まれている。

(財) アジア女性交流・研究フォーラムでは、第 52 回国連女性の地位委員会会期中に、理事長がニューヨークで収集したさまざまな資料を保管しています。是非多くの方にご覧いただきたいと思いますので、興味がおありの方は、お気軽にお問合わせください。



Commission on the  
Status of Women